



# Adaption Moduleを作ろう！

技術科@DJHS  
ローランドDG  
Fablab平塚  
(神奈川大学)  
ソニーMESH  
2017/12/26(sat)  
学びプロジェクト

## ワクワク感をカタチに

夢のワークショップが実現しました。ローランドDG、ファブラボ平塚、ソニーMESHの皆様の協力をいただき、同志社中学校にて「Adaption Moduleを作ろう！」というワークショップが実現しました。

「monoFabシリーズ」の1つ、3D切削加工機「SRM-20」を使って基板切削を行い、圧力センサーやフォトリフレクターをハンダ付けしレーザーカッターでカットしたアクリルの取り付けを行い（中略）、ソニー株式会

社の電子タグ「MESH」とつなぎスマートフォン対応の専用アプリで動作できるようにします。デジタルファブ리케이션とハンダ付けなどの手作業、プログラミング的思考を楽しみながら習得できる内容」でした。すでに東京で行われてたワークショップをご覧ください。

(Fabワークショップ <http://www.rolanddg.jp/cc/>

<http://www.rolanddg.jp/event.cgi?code=149982486523D>) モデリングマシンを使って基盤を加工し、ソニーのMESHを使ってユニークな作品をつくりました。工作機械「デジタル技術の活用で豊かな社会を実現する」ミッションで、様々な工作機械の製品を提供してくださっています。3DモデリングマシンのSRM20は、アイデアを自由にカタチできるという素晴らしい製品で、何が出来るかあれこれ考えることが楽しくなります。単に何かを作って面白いだけでない、ワクワク感という新しい喜びがプラスされた感じでした。立体物を削りだして造形する3D切削加工機はとても高精度な加工が可能なのです。



ファブラボ平塚



# ファブラボ平塚

また講義に来てくださった道用先生（神奈川大学 <http://professor.kanagawa-u.ac.jp/mgmt/international/prof51.html>）はエクセルVBAの書籍執筆者で有名な先生でした。神奈川大学の学生さんたちを取りまとめているFabLabHiratsuka（ファブラボ平塚）は神奈川大学経営学部にあり、デジタルからアナログまでの多様な工作機械を備えた市民工房です。個人による自由なものづくりの可能性を拡げ、「自分たちの使うものを、使う人自身がつくる文化」を醸成することを目指しておられます。

## What's FabLab?

<http://fablabjapan.org/whatsfablab/>

「MIT（マサチューセッツ工科大学）のニール・ガーシェンフェルド教授がその著書『ものづくり革命 パーソナル・ファブリケーションの夜明け』でファブラボを紹介して以来、その考え方が急速に世界に広まりました。（しばらく絶版の状態が続いていましたが、2012年に「[Fab —— パーソナルコンピュータからパーソナルファブリケーションへ](#)」として復刊されています。）

2011年4月現在、少なくとも世界20カ国以上50か所以上にファブラボが存在しています。アメリカやヨーロッパの先進国ばかりでなく、ケニアやアフガニスタンなどの途上国にも広まっており、日本では2011年に「ファブラボ鎌倉」と「ファブラボつくば」がオープンしました。

各ファブラボの運営形態は様々で、大学などの教育研究機関や地域のコミュニティセンター、文化施設と一体化したもの、NPO/NGO、あるいは個人によるものなど、それぞれが独自の運営を行っています

## 世界に広がるファブラボ・ネットワーク



